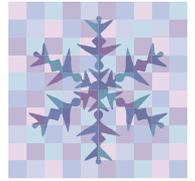




広島市食検だより

2021年2月 第66号



肉牛（黒毛和種など）はどんな一生を送るの？

（１）出生～6カ月

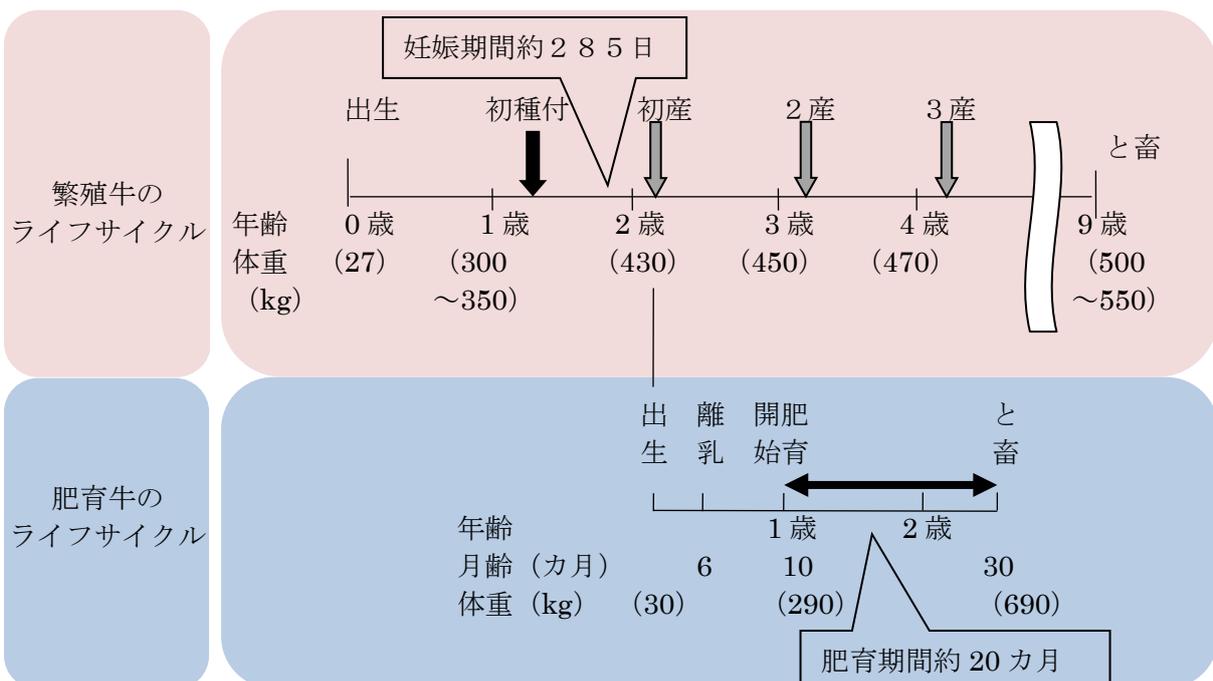
この期間はお母さんと一緒に過ごします。生後3カ月目くらいから大人の牛と同じエサを少しずつ食べ始めます。生後5～7カ月目で完全に大人の牛と同じものを食べるようになります。

ほとんどの雄牛は生後2～3カ月目に肉質をよくし、太りやすくし、性質をおとなしくして飼いやすくするために去勢をします。

（２）6カ月以降

去勢牛は肉をつけさせるために約20カ月間飼われます。この期間体重を約1kg増やすのに、10kg程度の穀物類のエサが必要と言われています。栄養価の高い配合飼料や大麦などの穀物だけでなく、草や稲わらなどもバランスよく食べさせます。生後約30カ月目、体重が約690kgになった頃に、と畜場へ出荷されます。

雌牛は生後15カ月～16カ月くらいまで去勢牛と同じように飼われます。この頃に初めて人工的に種付けをし、妊娠後約285日目に出産をします。たいていは一回の妊娠で1頭の赤ちゃんを産みます。その後毎年1頭ずつ赤ちゃんを産んで、平均9歳になると妊娠をしにくくなるので、と畜場に出荷されます。と畜場に出荷するときに、そのまま出荷する場合と1～3カ月間栄養価の高いエサを食べさせて肉質をよくして出荷する場合があります。肉質をよくすることを「飼い直し」といいます。



*参考図書：『食肉の知識』（公益社団法人 日本食肉協議会）